

平成29年度 邑楽町総合戦略 ローリング結果

基本施策	具体的な事業取組状況 (PD)	KPI① 実績点数 (D)	KPI② 実績点数 (D)	KPI 課題捉方 (C)	KPI 改善方法 (A)	総合評価
“おうら”の地域産業振興プロジェクト	33.33点	11.00点	13.00点	7.03点	6.88点	71.24点
“おうら”人材育成、雇用創出プロジェクト	23.61点	15.00点	12.54点	6.72点	6.56点	64.43点
“おうら”の新たな産業の創出プロジェクト	12.50点	15.00点	—	5.63点	5.63点	38.76点
“おうら”の魅力発信プロジェクト	35.42点	10.70点	15.00点	7.34点	7.50点	75.96点
“おうら”の自然と文化を生かした観光交流プロジェクト	25.00点	15.00点	12.99点	6.41点	7.03点	66.43点
“おうら”移住・定住プロジェクト	25.00点	0.00点	15.00点	6.72点	6.72点	53.44点
“おうら”出会いサポートプロジェクト	21.88点	13.94点	12.74点	5.63点	5.47点	59.66点
すくすく子育て“おうら”プロジェクト	43.75点	13.18点	11.25点	7.34点	7.97点	83.49点
女性が輝く“おうら”プロジェクト	20.00点	12.31点	8.75点	6.09点	5.94点	53.09点
“おうら”の絆づくりプロジェクト	35.00点	10.00点	15.00点	6.56点	7.19点	73.75点
“おうら”の魅力創造プロジェクト	45.00点	9.75点	14.68点	8.13点	8.13点	85.69点
コンパクト&ネットワーク“おうら”プロジェクト	34.38点	15.00点	13.78点	6.88点	7.03点	77.07点
※点数上限が違う箇所があるので縦列の平均点を足し上げても総合平均点とは異なります。	/50点	/15or30点	/15点	/10点	/10点	/100点
平均	29.57点	11.74点	13.16点	6.71点	6.84点	66.92点

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する				プロジェクト 担当 K P I ①担当課 及び K P I ②担当課	商工振興課 農業振興課		
	基本プロジェクト	(1)「おうら」の地域産業振興プロジェクト							
P D C A (P D)	PLAN					DO			
	具体的な事業					担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	中小企業の経営安定化に向けた融資事業	商工振興課		計画通り取り組んでいる	100	66.7		
	具体的な取組内容	金融機関や信用保証協会等と連携して「中小企業金融審査会」を開催し、町の制度融資を行っている。運転資金や設備資金の融資を行い、小規模企業の経営安定化と持続化に努めてきた。							
	2	商工連携による新商品研究開発促進事業	商工振興課		一部取り組んでいる	50	×係数		
	具体的な取組内容	群馬県との連携による「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金事業」では、1件の申請があり厳密な審査の結果、補助金を交付し事業を実施することができた。しかし「新商品研究開発推進事業」については申請がなく、実施することができなかった。							
	3	「指定・推奨野菜」を生産する農業者への支援事業	農業振興課		一部取り組んでいる	50	50%		
	具体的な取組内容	邑楽町指定野菜等生産推進事業により、米麦だけでなく野菜を取り入れた複合経営への移行を推進した。							
	4	おうらブランド創出事業	農業振興課		あまり取り組んでいない	25	点数		
	具体的な取組内容	おうらブランドをどういったものにするのか、また付与するに適切な農産物を検討中。							
5	地域内での地元農産物の利用拡大事業	農業振興課		概ね計画通り取り組んでいる	75	33.33			
具体的な取組内容	生活研究グループの地元農産物を使った料理の紹介・提案、あいあいセンターでの地元農産物やその加工品の販売、更に農村レストラン化して地元農産物をふんだんに使用したランチ提供、地産地消協議会の活動による地元農産物の利用拡大を図った。								
6	大手製造業OB活用事業	商工振興課		計画通り取り組んでいる	100	33.33			
具体的な取組内容	商工会に大手製造業OBと金融機関OBである商工業支援相談員を2名配置している。工業関係では、5S活動支援や各種補助金等の申請支援及び省エネ対応への取組支援、商業関係では広報活動支援や各種補助金申請支援等を行っている。								
7									
8									
9									
10									

目標 K P I ① (D)	KPI①	融資制度活用企業数(途中年度目標上方修正)					達成率
	目標 H31	28社		現状 H26	14社		73.3%
年度	目標	成果 <th>達成率</th> <td colspan="2"></td> <td>×係数</td>		達成率			×係数
	H27	31.0	社	31.0	社	100.0%	15
	H28	43.0	社	43.0	社	100.0%	点数
	H29	45.0	社	33.0	社	73.3%	
	H30	45.0	社		社	#N/A	11.00
	H31	28.0	社		社	#N/A	

年度	目標	成果	達成率
H27	31.0	31.0	100.0%
H28	43.0	43.0	100.0%
H29	45.0	33.0	73.3%
H30	45.0		#N/A
H31	28.0		#N/A

目標 K P I ② (D)	KPI②	「指定・推奨野菜」栽培に向けた申請件数					達成率
	目標 H31	100件		現状 H27	68件		86.7%
年度	目標	成果 <th>達成率</th> <td colspan="2"></td> <td>×係数</td>		達成率			×係数
	H27	80	件	68	件	85.0%	15
	H28	85	件	77	件	90.6%	点数
	H29	90	件	78	件	86.7%	
	H30	95	件		件	#N/A	13.00
	H31	100	件		件	#N/A	

年度	目標	成果	達成率
H27	80	68	85.0%
H28	85	77	90.6%
H29	90	78	86.7%
H30	95		#N/A
H31	100		#N/A

分析 (C)	CHECK					課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。					課題の捉え方	平均点数
	【KPI①】金融機関、信用保証協会、商工会、商工振興課等、関係機関の緊密な連携が必要である。 【KPI②】事業実施3年目となり、農業者へ浸透してきている。申請件数は微増だが、取り組み面積は4.6ha増となっている。農業者の高齢化により、これまでの米麦作から野菜生産への転換について躊躇している者も多い。					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.03

改善 (A)	ACTION					課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。					解決・改善の捉え方	平均点数
	【KPI①】これまで同様、各機関が連携を図り、融資を希望する中小企業者や小規模企業者と向き合うことが必要である。また、ニーズを探ることも必要であると考え。 【KPI②】引き続き、関係機関と連携しながらPRを進めていく。補助金等のメリットをPRしながら、取り組み者の増を目指す。今後、対象となる野菜の品目について、検討をしていきたい。					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.88

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	33.33点 /50点	11.00点 /15点	13.00点 /15点	7.03点 /10点	6.88点 /10点		71.24点 /100点

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する		プロジェクト 担当	K P I ①担当課	農業振興課	
	基本プロジェクト	(2)“おうら”人材育成、雇用創出プロジェクト		及び	K P I ②担当課	健康福祉課	
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	技能習得・能力向上支援事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	47.2
	具体的な取組内容	太田職業能力開発推進協議会や館林地区職業訓練運営会に補助金を出し支援を行った。また、商工会の商工業支援相談員による、商工業者に向けた技能向上支援事業を実施した。					
	2	青年就農給付事業		農業振興課	一部取り組んでいる	50	×係数
	具体的な取組内容	昨年度に引き続き2名の新規就農者へ、所得を確保するための給付金を支給。県や関係機関と連携し、安定した経営を支援すると共に、経営・栽培技術面での支援を行った。					
	3	就農研修生受入農家支援事業		農業振興課	あまり取り組めていない	25	50%
	具体的な取組内容	県と連携し、新規就農希望者等の研修生を募ったが、新規就農者は親元就農が多く、該当はなかった。					
	4	おうらヤングプラザ活用事業		生涯学習課	一部取り組んでいる	50	23.61
	具体的な取組内容	若者の就職を支援するための実践的な講座としてコミュニケーション力アップを目指したアサーション講座を企画したが、応募者が少なく中止となった。また、毎月2回、青年キャリア相談を実施し、青年の就・転職、キャリアアップについての相談に応じたが、利用は低調である。					
	5	ふるさと学生Uターン事業		学校教育課	あまり取り組めていない	25	
	具体的な取組内容	返還免除規定(大学等で学ぶために他市町に転出した学生に対し、地元の市町村に戻れば返還が免除されるなど)のある奨学金制度を設けている自治体の制度についてホームページ等で調べた。					
6	グローバル人材育成事業		学校教育課	一部取り組んでいる	50		
具体的な取組内容	町教育研究所所研究班による小学校外国語の授業改善、中学校英語教諭の小学校での授業等により、教師の授業力向上と授業改善を進めた。ALT全校配置など、外国語に触れる環境を整えた。						
7	ひとり親家庭等の在宅就業支援事業		子ども支援課	一部取り組んでいる	50		
具体的な取組内容	県の就労支援について、在宅のみではなく幅広い支援を行っているため、その案内や相談室の周知などの情報提供を行った。						
8	高齢者活力センター運営事業		健康福祉課	一部取り組んでいる	50		
具体的な取組内容	町社会福祉協議会へ指定管理委託を行い、効率的な運営を行った。						
9	障がい者雇用促進事業		健康福祉課	一部取り組んでいる	50		
具体的な取組内容	障がい者の就労に関係する機関と連携し、障がい者就職面接会の広報を行いました。また、就労継続を支援するための機関との連絡を密にしてきました。						

目標 K P I ① (D)	KPI①	認定農業者数					達成率	
	目標 H31	115人		現状 H26	105人		100.0%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	106.0	人	108.0	人		100.0%	15
	H28	108.0	人	107.0	人		99.1%	15.00
	H29	110.0	人	112.0	人		100.0%	
	H30	112.0	人		人		#N/A	
H31	115.0	人		人	#N/A			

目標 K P I ② (D)	KPI②	高齢者活力センター登録者数(実人数)					達成率	
	目標 H31	180人		現状 H26	122人		83.6%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	125	人	116	人		92.8%	15
	H28	130	人	126	人		96.9%	12.54
	H29	140	人	117	人		83.6%	
	H30	160	人		人		#N/A	
H31	180	人		人	#N/A			

分析 (C)	CHECK				課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】農業者の高齢化や後継者不足など、深刻な状況となっている。後継者不足は、耕作放棄地等につながるだけでなく、過疎化の進展や農村地域社会の崩壊等、国土保全の観点からも問題となっている。 【KPI②】①企業や公共事業での受注が増加した一方で、件数が多い一般家庭からの受注が減少した。 ②利用希望者が増えているが、団体を運営する構成員の高齢化や費用の増加などで継続的な活動が困難になる恐れがある。				課題の捉え方	平均点数
				A~Eの5段階評価	6.72	
				A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点		

改善 (A)	ACTION				課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】JA等の関係機関と連携し、広報誌等でお知らせするなど、新たな農業者の掘り起こしを行う。既に認定農業者の者については、更新時、再認定を働きかける。また、認定農業者になっていない農業者については、メリットをPRし、更なる人員増を目指す。さらに、認定農業者協議会の活動の支援を引き続き行う。 【KPI②】①多様化する仕事内容に応えるため、作業員のスキルアップを図り、幅広く仕事を受注できるように社協だよりによる広報活動を工夫します。②高齢者の居場所作りのため継続して事業を行えるよう、実施団体へ支援を行います。				解決・改善の捉え方	平均点数
				A~Eの5段階評価	6.56	
				A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点		

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	23.61点 /50点	15.00点 /15点	12.54点 /15点	6.72点 /10点	6.56点 /10点		64.43点 /100点

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	邑楽町でしごとをつくり安心して働く環境を創出する				プロジェクト外 担当 及び	KPI①担当課 KPI②担当課	商工振興課	
	基本プロジェクト	(3)“おうら”の新たな産業の創出プロジェクト							
P D C A (P D)	PLAN			DO					
	具体的な事業					担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	企業誘致推進事業		商工振興課		取り組めていない		0	25.0
	具体的な取組内容	企業誘致に関する優遇措置がないため、奨励金等の交付要綱を定めるべく研究を進めた。							
	2	創業支援事業		商工振興課		一部取り組めている		50	×係数
具体的な取組内容	創業支援事業計画に基づきワンストップ相談窓口を設置して新たな創業について支援する体制を整えている。29年度は5件の相談を受けたが、町内での創業は1件、町外の創業は1件という結果になった。							50%	
目 標 K P I ① (D)	KPI①	創業支援事業による起業事業者(店舗)数					※H27は新規事業のため、定量ではなく定性目標で評価 (計画の認定を目標1とし達成の場合は成果1) 	達成率	
	目標	16件		現状	新規			50.0%	
	H31			H27				×係数	
	年度	目標		成果		達成率		30	
	H27	1.0	件	1.0	件	100.0%		点数	
	H28	2.0	件	0.0	件	0.0%		15.00	
	H29	4.0	件	2.0	件	50.0%			
H30	8.0	件	#N/A	件	#N/A				
H31	16.0	件	#N/A	件	#N/A				
目 標 K P I ② (D)	KPI②							達成率	
	目標			現状				—	
	H31			H27				×係数	
	年度	目標		成果		達成率		—	
	H27					#N/A		点数	
	H28					#N/A		—	
	H29					#N/A			
H30					#N/A				
H31					#N/A				
分 析 (C)	CHECK					課長会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】創業支援ワンストップ窓口の周知が行き届いていないことと、町内は特に他市と比較してサービス業で重要となる商圏内でのターゲットが不足する環境である。					課題の捉え方	平均点数		
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】創業支援ワンストップ窓口の周知に加え、結果的に他市町村で創業した人にも、最終的には邑楽町で事業を行ってもらえるよう引き続きオファーしていく。					解決・改善の捉え方	平均点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)			
	12.50点 /50点	15.00点 /30点	— 一点	5.63点 /10点	5.63点 /10点	38.76点 /100点			

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標		邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当		子ども支援課	
	基本プロジェクト		(4)“おうら”の魅力発信プロジェクト		K P I ①担当課		子ども支援課	
P D C A (P D)	PLAN				DO			
	具体的な事業				担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	様々な媒体を活用した本町の魅力発信事業			商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	70.8
	具体的な取組内容	町広報紙やホームページはもちろんのこと、上毛新聞などを活用して町内外に情報の発信を行った。また、東京国際フォーラムで12月2日3日に開催された全国町村会主催の「町イチ！村イチ！2017」においても、広く邑楽町の魅力を発信した。						
	2	子育てに関する町ホームページの充実事業			子ども支援課(企画)	計画通り取り組んでいる	100	×係数
	具体的な取組内容	出産祝金、児童手当、幼稚園、保育園、学童保育所などの子育てに関する情報の提供を図っている。また、申請用紙等をダウンロードして利用できるようにしている。						
	3	ふるさと納税充実事業			総務課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%
	具体的な取組内容	町ホームページやチラシによる広報活動を行うとともに、新たな返礼品の提供を行うため、町農工商業者へのふるさと納税返礼品の提供についての説明会及び広く周知するための特設サイトへ掲載、業務の効率化のため、一括業務提携の準備を行った。						
	4	地元農産物の販売促進事業			農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数
	具体的な取組内容	あいあいセンターが継続的に販売、また町内外各種イベントにも出店し邑楽町産農産物を販売及びアピールをしている。また地産地消協議会が認定農業者協議会と連携し、町内イベント等で地元農産物の販売、宣伝を行っている。						
5	町外の学生への就職情報配信事業			商工振興課	取り組めていない	0	35.42	
具体的な取組内容	具体的な取組はできなかった。							
6	ご当地ヒーロー活用事業			商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	35.42	
具体的な取組内容	邑楽町のご当地ヒーロー「タワー戦隊スワンジャー」による各種メディアや町内外のイベント等を通じて、町のPRを行った。							
目 標 K P I ① (D)	KPI①		ホームページアクセス数(数値:企画/目標:子ども)				達成率	
	目標	300000アクセス		現状	200000アクセス		71.3%	
	H31			H26			×係数	
	年度	目標	成果	達成率	400000		100.0%	
	H27	280,000.0	アクセス	239,899.0	アクセス	85.7%	50.0%	
	H28	280,000.0	アクセス	229,247.0	アクセス	81.9%	0.0%	
H29	290,000.0	アクセス	206,794.0	アクセス	71.3%	0.0%		
H30	290,000.0	アクセス		アクセス	#N/A	0.0%		
H31	300,000.0	アクセス		アクセス	#N/A	0.0%		
目 標 K P I ② (D)	KPI②		ふるさと納税金額				達成率	
	目標	1000000円		現状	396400円		100.0%	
	H31			H26			×係数	
	年度	目標	成果	達成率	2,000,00		100.0%	
	H27	400,000	円	675,000	円	100.0%	50.0%	
	H28	600,000	円	747,000	円	100.0%	0.0%	
H29	700,000	円	870,000	円	100.0%	0.0%		
H30	800,000	円		円	#N/A	0.0%		
H31	1,000,000	円		円	#N/A	0.0%		
分 析 (C)	CHECK				課長会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】子育て支援の制度関係については、制度の一部改正等に伴った情報修正および新情報を速やかに反映させることができなかった。 【KPI②】国からの返礼品に対する指導は大変強くなっている状況である。この指導の範囲内で、今年度より返礼品の掘り起こしとして、町内業者への提供依頼を行ってきた。今後も邑楽町ゆかりのある返礼品を提供することにより、邑楽町のPRを行うとともに、ふるさと納税額を増やしていく必要がある。また、ふるさと納税を行った人が、細かい事業等を選べるようにすることにより、目的を持った寄附としていくことも、重要である。				課題の捉え方	平均点数	7.34	
改 善 (A)	ACTION				課長会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】最新情報を発信できるよう、掲載する情報内容の精査をおこない、国・県・他自治体の情報も参考にしながら改善していく。 【KPI②】平成30年度より、特設サイトを開設し広くふるさと納税のPRを行う。また、返礼品の数も増やし、魅力ある邑楽町の発信に繋げていく。				解決・改善の捉え方	平均点数	7.50	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)		
	35.42点 /50点	10.70点 /15点	15.00点 /15点	7.34点 /10点	7.50点 /10点	75.96点 /100点		

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標		邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当 及び	KPI①担当課 KPI②担当課	商工振興課	
	基本プロジェクト		(5)“おうら”の自然と文化を生かした観光交流プロジェクト				商工振興課	
P D C A (P D)	PLAN				DO			
	具体的な事業				担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	中央公園活用事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50.0	
	具体的な取組内容	平成28年度から開始した農工商連携の事業の一環として、あいあいセンターナイトカフェとシンボルタワー光のページェントHIKARIMIRAIを継続して実施した。						
	2	観光イベント活発化事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
	具体的な取組内容	おうら祭りや産業祭、白鳥まつりなどを開催し、町内外から多数の参加があった。						
	3	体験型観光事業		商工振興課(農振)	あまり取り組めていない	25	50%	
	具体的な取組内容	シンボルタワーで子ども機織り教室を実施した。直接観光客誘客に結びついた訳ではないが、今後の観光客誘客に向けた体験型観光事業を行ううえでの参考となった。						
	4	平地林活用事業		生涯学習課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数	
	具体的な取組内容	ヤングプラザで松本公園を活用したキッズアウトドア教室を開催し、平地林を活用したイベントの成功に努力した。また、多々良沼公園で毎年開催されている小学生向けの「こどもまつり」を支援したが、雨天のため中止となった。						
5	広域観光周遊ルート形成事業		商工振興課	取り組めていない	0	25.00		
具体的な取組内容	邑楽館林振興局主催の4県境界地域交流意見交換会にて、広域で連携した取り組みの研究をしているが、実施に至っていない。							
6	ふるさとの名物開発支援事業		農業振興課	一部取り組んでいる	50			
具体的な取組内容	あいあいセンターで「にがうり」を生かした加工品を数種生産販売しているが、新たな品目を引き続き開発していく。							
7	国際交流事業		学校教育課	一部取り組んでいる	50			
具体的な取組内容	平成30年度の実施に向けて、英語検定の検定料助成や、「イングリッシュキャンプ」についての調査・研究を進めた。							
目 標 K P I ① (D)	KPI①	観光イベントの参加者数					達成率	
	目標 H31	51800人		現状 H26	51000人		100.0%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	51,100.0 人	51,000.0 人	99.8%	15			
	H28	51,300.0 人	52,000.0 人	100.0%			点数	
	H29	51,500.0 人	53,000.0 人	100.0%			15.00	
	H30	51,700.0 人	#N/A	#N/A				
H31	51,800.0 人	#N/A	#N/A					
目 標 K P I ② (D)	KPI②	シンボルタワー入場者数					達成率	
	目標 H31	17000人		現状 H26	13512人		86.6%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	13,500 人	13,082 人	96.9%	15			
	H28	14,000 人	13,771 人	98.4%			点数	
	H29	14,500 人	12,556 人	86.6%			12.99	
	H30	15,000 人	#N/A	#N/A				
H31	17,000 人	#N/A	#N/A					
分 析 (C)	CHECK					課長会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】KPI①及びKPI②の内容を含む 【KPI②】大型イベントなどで誘客数はある程度確保しているが、既存の観光施設となりうるシンボルタワーの入場者数が平成28年度と比較して、減少しているのが課題。平成30年度は平成29年度の入場者数を割り込む可能性も出てきており、予断を許さない状況といえる。					課題の捉え方	平均点数	
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】KPI①及びKPI②の内容を含む 【KPI②】シンボルタワーについては、入場者数=展望室に登った人数となるので、今後は展望室に登ることによるプレミアム感の醸成及び、夜間展望に付加価値を持たせる新たな取り組みなどを模索する必要がある。					解決・改善の捉え方	平均点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)		
	25.00点 /50点	15.00点 /15点	12.99点 /15点	6.41点 /10点	7.03点 /10点	66.43点 /100点		

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標		邑楽町への新しい人の流れをつくる		プロジェクト 担当 及び	KPI①担当課 KPI②担当課	企画課	
	基本プロジェクト		(6)“おうら”移住・定住プロジェクト				商工振興課	
P D C A (P D)	PLAN				DO			
	具体的な事業				担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	町営住宅の紹介事業			都市建設課	計画通り取り組んでいる	100	50.0
	具体的な取組内容	町ホームページ上で、町営住宅・県営住宅の所在・入居資格・手続き等について案内している。						
	2	勤労者住宅資金融資事業			商工振興課	取り組めていない	0	×係数
	具体的な取組内容	勤労者の住宅の建築または取得に必要な資金の融資を促進し、勤労者の福祉の増進と生活の安定を目的に行っている。29年度も予算を計上したが、町民からの応募がなく、融資実績はなかった。						
	3	住宅リフォーム支援事業			商工振興課	計画通り取り組んでいる	100	50%
	具体的な取組内容	町民が町内の施工業者を利用して、自己所有し居住する住宅のリフォームを行った場合に、その経費の10パーセント(20万円を限度)の補助金を交付した。						
	4	空き家有効活用事業			商工振興課(安)	取り組めていない	0	点数
	具体的な取組内容	具体的な事業は行っていない。						
5	おうらの暮らし体験ツアー事業			企画課	概ね計画通り取り組んでいる	75	25.00	
具体的な取組内容	移住検討者に町内の生活環境(買い物・学校・子育て)が把握できるツアーを企画し、HP掲載や町内不動産業者にツアーチラシ等の設置を依頼するなど周知し、定住のきっかけ作りを行った。							
6	移住・定住支援団体設立事業			企画課	あまり取り組めていない	25		
具体的な取組内容	移住検討者にコミュニティの情報提供や移住相談等も対応出来る移住コンシェルジュとしての団体設立の調査検討を行った。							
目 標 K P I ① (D)	KPI①	おうらの暮らし体験ツアー事業参加者世帯				※H27は新規事業のため、定量ではなく定性目標で評価 (ツアーの企画書作成を目標1とし達成の場合は成果1)		達成率
	目標	5組		現状	新規		0.0%	
	H31			H27			×係数	
	年度	目標	成果	達成率	100.0%			
	H27	1.0	組	1.0	組	100.0%		
	H28	2.0	組	0.0	組	0.0%		
	H29	3.0	組	0.0	組	0.0%		
	H30	4.0	組		組	#N/A		
	H31	5.0	組		組	#N/A		
	目 標 K P I ② (D)	KPI②	住宅リフォーム補助金制度利用数					
目標		55件		現状	45件		100.0%	
H31				H26			×係数	
年度		目標	成果	達成率	100.0%			
H27		47	件	43	件	91.5%		
H28		49	件	60	件	100.0%		
H29		51	件	52	件	100.0%		
H30		53	件		件	#N/A		
H31		55	件		件	#N/A		
分 析 (C)		CHECK						課長会評価欄
	<p>目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。</p> <p>【KPI①】暮らし体験ツアーをHPや不動産業者等に協力を頂き周知しているが、まだまだ周知が来ていない。 ・当町(東毛地区)移住希望者の把握が困難となっている。というのも群馬県の移住希望者の多くが趣味のウィンタースポーツと仕事の両立を望んでいるため、東毛地区の需要は高くない。 【KPI②】目標件数はクリアしたが、予算が足りなくなってしまう、一度受け付け終了とした後に補正予算で対応した。12月補正予算での対応となったため、結果的に補正後の予算は余ってしまった。予算が終了したら補助金も受付終了となるので、早い者勝ちになってしまうことに加え、町内に居住している人が対象であるため、移住予定者は申請できない現状である。</p>						課題の捉え方	平均点数
改 善 (A)	ACTION						課長会評価欄	
	<p>来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。</p> <p>【KPI①】首都圏等で開催される移住相談会等で、直接移住希望者に周知し定住のきっかけ作りをする。また、既存のツアーにこだわらず、参加者毎の要望を聞き、オンリーワンのツアーで柔軟に対応していく。 【KPI②】補助金の需要が増えているため、現状の予算では全てに対応できないことが予想される。補助金の上限を下げるか、多くの予算を獲得するかを詰めていかなければならないと同時に、当制度を移住者まで対象とするか、また、空き店舗のリフォームへの発展性も十分検討の余地がある。問題解決には政策的な判断が必要である。</p>						解決・改善の捉え方	平均点数
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)		
	25.00点 /50点	0.00点 /15点	15.00点 /15点	6.72点 /10点	6.72点 /10点	53.44点 /100点		

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

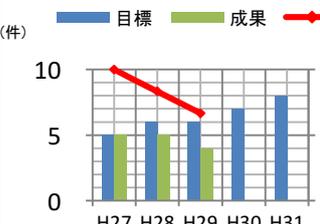
分類	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		プロジェクト外 担当	KPI①担当課	商工振興課		
	基本プロジェクト	(7)“おaura”出会いサポートプロジェクト		及び	KPI②担当課	商工振興課		
P D C A (P D)	PLAN			DO				
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	1	若者の就労支援事業		商工振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	43.8	
		具体的な取組内容	就職活動や社会的・職業的自立を目指すためのセミナーを1回開催した。1人の応募があり、本人の参加を得て、有意義に実施することができた。					
	2	勤労者レクリエーション交流事業		商工振興課(生涯)	計画通り取り組んでいる	100	×係数	
		具体的な取組内容	邑楽町労使教育委員会の事業として勤労者レクリエーション事業を実施しており、29年度は谷中銀座商店街&六本木ヒルズお買い物ツアーと東京ディズニーランドツアー、タワーオブクリスマスを実施した。					
	3	出会いの機会提供事業		商工振興課(生涯)	取り組めていない	0	50%	
	具体的な取組内容	具体的な取組はできていない。						
4	結婚サポーター養成事業		子ども支援課(健康・住民)	取り組めていない	0	点数		
	具体的な取組内容	結婚サポーター養成として、県が実施している養成講座等への参加の推奨活動ができなかった。				21.88		
目 標 K P I ① (D)	KPI①	勤労者向けのレクリエーションイベント参加者数					達成率	
	目標	290人		現状	254人		93.0%	
	H31			H26			×係数	
	年度	目標	成果	達成率			15	
	H27	260.0	人	323.0	人		100.0%	点数
	H28	265.0	人	314.0	人		100.0%	13.94
	H29	270.0	人	251.0	人		93.0%	
H30	280.0	人		人	#N/A			
H31	290.0	人		人	#N/A			
目 標 K P I ② (D)	KPI②	婚姻届出数					達成率	
	目標	100件		現状	86件		84.9%	
	H31			H26			×係数	
	年度	目標	成果	達成率			15	
	H27	88	件	85	件		96.6%	点数
	H28	90	件	81	件		90.0%	12.74
	H29	93	件	79	件		84.9%	
H30	96	件		件	#N/A			
H31	100	件		件	#N/A			
分 析 (C)	CHECK					課長会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】勤労者向けレクリエーションの参加者募集は、広報やホームページだけでは過去のように定員を大幅に超えるほど集まらなくなってきた。事業の企画や周知方法が大きな課題である。 【KPI②】就労支援や町のピーアールをとおして移住定住につながるよう事業を進めてきたが、婚姻届出数の向上までには至らなかった。					課題の捉え方	平均点数	
改 善 (A) <th colspan="5">ACTION</th> <th colspan="2">課長会評価欄</th>	ACTION					課長会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】町の広報やホームページ、お知らせメールの他にも、町内の労働組織と連携して参加者を募集する。 【KPI②】若者を対象とした就労支援や町のピーアールを強化し、「邑楽町に住んでみたい」と思われるような事業を展開していく。					解決・改善の捉え方	平均点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)		
	21.88点 /50点	13.94点 /15点	12.74点 /15点	5.63点 /10点	5.47点 /10点	59.66点 /100点		

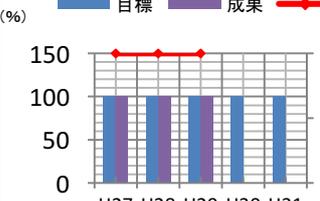
平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		プロジェクト 担当	K P I ①担当課	子ども支援課					
	基本プロジェクト	(8)すくすく子育て“おaura”プロジェクト		及び	K P I ②担当課	健康福祉課					
P D C A (P D)	PLAN			DO							
	具体的な事業			担当課	取組状況	進捗	進捗平均				
	1	両親学級事業		健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	87.5				
	具体的な取組内容	母親の仲間づくりと父親の育児参加を目的として、妊婦とその夫を対象に両親学級を1コース3日間で、年4回実施。妊娠、出産、育児、母乳推進、歯科保健に関する知識の普及。									
	2	不育症治療費助成事業		健康福祉課	一部取り組んでいる	50	×係数				
	具体的な取組内容	不育症治療を受けている夫婦への経済的支援で、保険適用外部分について1年当り1回で上限30万円まで、通算5回まで。広報やHP等で住民や医療機関への助成制度の周知を図る。									
	3	出産祝金事業		子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	50%				
	具体的な取組内容	第1子 50,000円 第2子 100,000円 第3子 200,000円の支給を継続実施。									
	4	保育料多子軽減事業(幼稚園・保育園等)		子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	点数				
	具体的な取組内容	保育料を第2子 1/2 第3子以降 全額補助を継続実施。									
	5	学童保育所多子軽減事業(学童保育所)		子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	43.75				
	具体的な取組内容	保育料の上限額8,000/月に対し、第2子 1/2 第3子以降 全額補助を継続実施。									
	6	子ども医療費無料化事業		住民課	計画通り取り組んでいる	100	43.75				
	具体的な取組内容	中学生までの医療費無料化に加え、町単独事業として平成28年4月診療分から高校生世代の入院のみ無料化を開始し、継続した。									
7	学童クラブ運営事業		子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	43.75					
具体的な取組内容	小学校区ごとにある町立の4つの児童館において、放課後児童クラブも実施し、就労等により昼間に保護者がいない児童への健全育成を継続的に図っている。										
8	民間放課後児童健全育成事業支援事業		子ども支援課	計画通り取り組んでいる	100	43.75					
具体的な取組内容	町内2か所の民間学童保育所「いちばんぼし」「くらかけ広場」で、就労等により昼間に保護者がいない児童への健全育成を図っており、継続的な運営を支援している。										
9	学校給食費減免事業		学校教育課	概ね計画通り取り組んでいる	75	43.75					
具体的な取組内容	少子化対策及び子育て支援による保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園の給食費を減免している。										
10	ファミリー・サポート・センター事業		子ども支援課	概ね計画通り取り組んでいる	75	43.75					
具体的な取組内容	育児の援助を受けたい「おねがい会員」と援助を行いたい「まかせて会員」などからなる会員相互援助活動で、まかせて会員の募集及び研修を実施。また、おねがい会員の募集を行い組織体制の構築に努めた。										
目 標 K P I ① (D)	KPI①	第3子以降の出生数				<p>達成率 87.9% ×係数 15 点数 13.18</p>					
	目標	35人		現状	24人						
	H31	35人		H26	24人						
	年度	目標	成果	達成率							
	H27	31.0	人	32.0	人		100.0%				
	H28	32.0	人	35.0	人		100.0%				
	H29	33.0	人	29.0	人		87.9%				
H30	34.0	人		人	#N/A						
H31	35.0	人		人	#N/A						
目 標 K P I ② (D)	KPI②	両親学級参加者数				<p>達成率 75.0% ×係数 15 点数 11.25</p>					
	目標	80人		現状	70人						
	H31	80人		H26	70人						
	年度	目標	成果	達成率							
	H27	72	人	80	人		100.0%				
	H28	74	人	67	人		90.5%				
	H29	76	人	57	人		75.0%				
H30	78	人		人	#N/A						
H31	80	人		人	#N/A						
分 析 (C)	CHECK					課長会評価欄					
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】出産祝金事業として、第3子以降200,000円の支給を実施しているが、前年度と比較すると第3子以降の出生数が減っている状況であった。児童手当等の申請時に町単独事業としての事業であることを周知しているが、今後支給制度の見直しの必要性もある。 【KPI②】・出産祝金制度自体や支給額等を平成27年度から拡充していることや保育料、学童保育所について多子軽減事業を実施しているなどの周知をもっと図れる方法の検討が必要。 ・両親学級の対象となる妊娠届出数が減少しているが、働く女性(妊婦)の増加(65%)や、両親学級を病院・産院で受講する妊婦もいる。						課題の捉え方	平均点数			
改 善 (A)	ACTION					課長会評価欄					
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】出産祝金事業については、平成32年度までに過去の支給状況の検証や制度の見直し検討をおこない、町への定住を促進できるよう図っていく。 【KPI②】・住民に対しての周知(広報等)や町外の子育て世帯に情報提供できるような周知方法を検討する。(ポータルサイトやSNS、フリーペーパー等への掲載など) ・両親学級を、3日間コース(2日間→3日間)に増やし4回/年実施する。また、夏・冬コースに土日開催を設け勤労妊婦や父親の参加も得られやすくする。両親学級の通知を妊娠届出時だけでなく、再通知する。両親学級修了者の会の内容の充実にも努め、児が生まれてからの仲間づくりを推進する。 ・近隣市町の取組み状況等について情報交換に努める。						解決・改善の捉え方	平均点数			
評 価	取組状況	43.75点	目標①	13.18点	目標②	11.25点	分析	7.34点	改善	7.97点	総合評価(点数) 83.49点 /100点
		/50点	/15点	/15点	/10点	/10点					

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	プロジェクト外 担当	K P I ①担当課	企画課	
	基本プロジェクト	(10)“おうら”の絆づくりプロジェクト	及び	K P I ②担当課	安全安心課	
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	地域包括ケアシステム構築事業	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	70.0
	具体的な取組内容	認知症についての理解と対応方法等について学ぶ認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症ケアパスを策定しました。認知症の人やその家族等が集える場所としてオレンジカフェを配置しました。				
	2	見守りネットワーク事業	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数
	具体的な取組内容	配食サービスでは、配達の際に食事を手渡して高齢者の安否確認を行いました。				
	3	消防力の充実・強化事業	安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%
	具体的な取組内容	常備消防及び非常備消防に対する負担金を館林地区消防組合に対し支出し、それぞれの施設整備、更新を計画的に実施。				
4	通学路安全推進事業	安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数	
具体的な取組内容	行政区や通学路安全対策会議等を通じ安全対策が必要な箇所を洗い出し、予算の範囲内で計画的に整備等を行った。					
5	協働のまちづくり事業	企画課	概ね計画通り取り組んでいる	75	35.00	
具体的な取組内容	平成29年度は、4団体事業総額2,011,675円に対して1,288,000円の補助金額を交付し継続的な活動を行うことが出来た。事業実施に際しては、担当課を指定し町と町民団体とが協力し住民の柔軟な発想と力を活用することにより、補助金額以上の住民サービスの提供ができ、協働活動の活性化に繋げることが出来た。					

目 標 K P I ① (D)	KPI①	町と町民活動団体との協働事業数(年間)				達成率
	目標 H31	8件		現状 H27	5件	
	年度	目標	成果	達成率		×係数
	H27	5.0 件	5.0 件	100.0%		
	H28	6.0 件	5.0 件	83.3%		
	H29	6.0 件	4.0 件	66.7%		
	H30	7.0 件	件	#N/A		
H31	8.0 件	件	#N/A			
15	10.00					

目 標 K P I ② (D)	KPI②	消防団員充足率				達成率
	目標 H31	100%		現状 H26	100%	
	年度	目標	成果	達成率		×係数
	H27	100 %	100 %	100.0%		
	H28	100 %	100 %	100.0%		
	H29	100 %	100 %	100.0%		
	H30	100 %	件	#N/A		
H31	100 %	件	#N/A			
15	15.00					

分析 (C)	CHECK		課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】活動期間も長期に渡り活動補助金上限額も50万円と高額なため、新規の町民団体の申請が無かった。 【KPI②】新規団員の確保等、団員の後継者育成が課題となっている。		課題の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 11 C 5点 4 D2.5点 1 E 0点 0	6.56

改善 (A)	ACTION		課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】協働のまちづくりに対する新要綱を定め、補助金額を低廉な額に設定し活動期間も短くても事業実施を可能にする。また、行政提案型事業を従前の町民提案の事業に加えることで、多くの町民団体と行政課題の解決を図る。 【KPI②】関係機関等においてパンフレットの配布を依頼するなど、啓発活動に努めている。また、若い世代の集うイベント等機会を捉えた啓発活動を継続していく。また、道路交通法の改正により、普通免許で運転できる車両の重量が変更された問題に対しては、新規団員の負担軽減の意味合いから、消防組合にて中型免許の取得に対し、助成等を検討している。		解決・改善の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 2 B7.5点 11 C 5点 2 D2.5点 1 E 0点 0	7.19

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	35.00点 /50点	10.00点 /15点	15.00点 /15点	6.56点 /10点	7.19点 /10点	

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	プロジェクト外 担当 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本プロジェクト	(11)“おうら”の魅力創造プロジェクト	及び K P I ②担当課	生涯学習課		
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	1	多々良沼公園管理事業	都市建設課	概ね計画通り取り組んでいる	75	90.0
	具体的な取組内容	芝刈りや草刈りや清掃等の維持管理業務は高齢者活力センターに委託し、植栽管理は造園業者に委託し適正な管理に努めている。				
	2	文化財保護伝承事業	生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	×係数
	具体的な取組内容	水生動植物の調査、行人塚や松本20号古墳の管理、町指定文化財展を行った。公民館等でも文化財講座や歴史散歩などを実施した。中野沼の水生動植物を守るための外来魚駆除大作戦では、全国の自治体で初めて環境庁から特定外来生物の飼養許可を得て「殺さない駆除」を実施し、マスコミ等で大きな注目を集めた。				
	3	「ふるさと学」推進事業	生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	50%
	具体的な取組内容	邑楽町公民館のコミュニティカレッジ、長柄公民館の長柄塾(計2回)、利用団体によるまちづくり学習会など、町の歴史や固有の資源に着目した様々な学習活動を展開し、町民の誇りや郷土愛の向上の一助とした。				
	4	学校生活充実事業	学校教育課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数
	具体的な取組内容	老朽化対策として、施設・設備の更新や改修、修繕を進めた。(庶務係)				
5	生涯学習・社会教育充実事業	生涯学習課	計画通り取り組んでいる	100	45.00	
具体的な取組内容	中央公民館開館準備事業として、音楽・ダンス・演劇の各分野で新たな芸術文化の掘り起こしと担い手育成を図った。新たな文化発信の核となる町民劇団、町民吹奏楽団が結成され、住民に活動成果を還元した。					

目 標 K P I ① (D)	KPI①	指定文化財展来場者数					達成率	
	目標 H31	540人		現状 H26	492人		65.0%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	500.0	人	437.0	人		87.4%	15
	H28	510.0	人	352.0	人		69.0%	点数
	H29	520.0	人	338.0	人		65.0%	9.75
	H30	530.0	人		人		#N/A	
H31	540.0	人		人	#N/A			

目 標 K P I ② (D)	KPI②	社会教育施設利用人数					達成率	
	目標 H31	299000人		現状 H26	293765人		97.9%	
	年度	目標	成果	達成率			×係数	
	H27	287,000	人	294,977	人		100.0%	15
	H28	290,000	人	289,824	人		99.9%	点数
	H29	293,000	人	286,814	人		97.9%	14.68
	H30	296,000	人		人		#N/A	
H31	299,000	人		人	#N/A			

分析 (C)	CHECK		課長会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】KPI①及びKPI②の内容を含む 【KPI②】少子高齢化及び人口減少の状況の中で、様々なイベントや学級・講座に参加する人の数は長期低落傾向にある。そうした中で、指定文化財展や社会教育施設に足を運ぶ人を増やすためには、これまでの事業の単なる継続ではなく、新たな観点での企画立案が求められる。		課題の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	8.13

改善 (A)	ACTION		課長会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】KPI①及びKPI②の内容を含む 【KPI②】利用者や町民の状況・ニーズの把握に努めると共に、①企画や事業の魅力をより前面に出した事業の展開、②これまでの利用者層と違った年齢や階層にターゲットを絞った特徴ある企画及び事業、③広報紙やポスターなど旧来の広報宣伝方法の見直しなどを行っていく。		解決・改善の捉え方	平均点数
			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	8.13

評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	45.00点 /50点	9.75点 /15点	14.68点 /15点	8.13点 /10点	8.13点 /10点		85.69点 /100点

平成29年度 総合戦略(実施計画)ローリング資料

分類	基本目標	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				プロジェクト外 担当	KPI①担当課	都市建設課
	基本プロジェクト	(12)コンパクト&ネットワーク“おうら”プロジェクト				及び	KPI②担当課	企画課
P D C A (P D)	PLAN		DO					
	具体的な事業		担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	1	土地利用対策事業	都市建設課	計画通り取り組んでいる	100	68.8		
	具体的な取組内容	適切な土地利用の誘導を図るべく、人口減少・少子高齢化社会を見据えた持続可能なまちづくりを目指し、都市計画マスタープランの改定、立地適正化計画の策定を30年3月に行った。						
	2	公共交通ネットワーク形成事業	企画課	計画通り取り組んでいる	100	×係数		
	具体的な取組内容	循環型バスネットワークの一助とすべく、町の公共バス2路線【邑楽～太田線(町の北部を経由し太田駅・太田記念病院)と館林・邑楽・千代田線(館林駅～千代田町)】を平成30年4月1日から邑楽町役場で結節するための各種関係機関への申請や協議会の開催等経路変更事務を行った。						
3	買い物困難者支援事業	健康福祉課	取り組めていない	0	50%			
具体的な取組内容	健康福祉課としては、具体的な取り組みはなし。							
4	公共施設マネジメント推進事業	総務課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数			
具体的な取組内容	公共施設総合管理計画をもとに、個別施設計画の策定に向けて準備を行った。					34.38		
目 標 K P I ① (D)	KPI①	国県道を含めた町内道路の改良率					達成率	
	目標 H31	60%		現状 H26	59.19%		(%)	100.0%
	年度	目標	成果	達成率			×係数	15
	H27	59.2	%	59.4	%	100.0%	100.0%	15.00
	H28	59.4	%	59.8	%	100.0%	50.0%	
	H29	59.6	%	60.3	%	100.0%	0.0%	
H30	59.8	%	#N/A	%	#N/A			
H31	60.0	%	#N/A	%	#N/A			
目 標 K P I ② (D)	KPI②	公共バス利用者数					達成率	
	目標 H31	28300人		現状 H26	27700人		(人)	91.8%
	年度	目標	成果	達成率			×係数	15
	H27	27,750	人	27,625	人	99.5%	100.0%	13.78
	H28	27,800	人	26,957	人	97.0%	50.0%	
	H29	27,900	人	25,622	人	91.8%	0.0%	
H30	28,100	人	#N/A	人	#N/A			
H31	28,300	人	#N/A	人	#N/A			
分 析 (C)	CHECK						課長会評価欄	
	<p>目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。</p> <p>【KPI①】交付金等の特定財源の確保が難しく進捗に遅れが出ているため、引き続き国・県への要望を行っていく。</p> <p>【KPI②】利用者数(H28)26,957人(館12,327人+太14,630人)-(H29)25,622人(館11,939人+太13,683人)=前年度比-1,335人となっており、邑楽～太田線の減少が多くみられる。利用者数の増加を目指し、ダイヤ改正や路線変更を含めた利便性の向上及び公共交通を利用しようとする意識の啓発活動や利用促進の施策を講じる必要がある。</p>						課題の捉え方	平均点数
改 善 (A)	ACTION						課長会評価欄	
	<p>来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。</p> <p>【KPI①】・県の管理する広域的幹線道路は局部的ではあるが改善されており、引きつづき要望を行っていく。</p> <p>・町の管理する道路については、幹線道路・生活道路ともに特定財源の確保に努め毎年一定程度の整備を推進していく。</p> <p>【KPI②】町内2路線を邑楽町役場で結節させ、町内南北から館林市・太田市方面の高校や病院等に行けるなど利便性の向上を図る。また、バス未利用者の方々の意見の中で、「バスの乗り方が分からないので、利用に不安がある」といった意見もあるので、高齢者や幼少者向けの「バスの乗り方教室」を実施するなど、周知・理解と利用促進を図っていく。</p>						解決・改善の捉え方	平均点数
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)	
	34.38点 /50点	15.00点 /15点	13.78点 /15点	6.88点 /10点	7.03点 /10点		77.07点 /100点	